

# ごあいさつ



公益財団法人 日本テニス協会

会 長 山西 健一郎

今年も、実業団日本一を決める第37回テニス日本リーグを盛大に開催できますことを大変嬉しく思うとともに、長く厳しい戦いを経てこの場に集った選手、監督、コーチの皆さん。彼らを支え、応援されているご家族や同僚、友人の皆さま。そして、実業団テニスの活動にご理解とご支援をいただき、その発展にご尽力を頂戴している各企業の皆さまに、心より出場のお祝いを申し上げます。

未だ収束とは言い難いコロナ禍のもとではありますが、今年は楽天・ジャパン・オープン・テニス・チャンピオンシップス2022と東レ パン パシフィック オープンテニス 2022が3年ぶりに開催され、日本テニスの聖地である有明に大勢のテニスファンが詰めかけるなか、出場の選手たちは世界最高峰の戦いを繰り広げてくれました。

テニス日本リーグに於いても、四大大会に出場経験のある選手をはじめとする国内トップクラスの選手の皆さんが、日本における団体戦の最高峰を目指し、熱い戦いを見せてくれると期待しています。

私も会場や、新たな生活様式の一環として前回大会から導入しましたインターネットライブ配信を通じ、多くの皆さまとともに観戦し、声援を送りたいと思います。

最後になりましたが、ご後援をいただいております日本経済新聞社様。ヨネックス株式会社様をはじめとする多くの協賛会社様。大会開催・運営にご尽力を頂戴しております、すべての関係者の皆さまに心よりの感謝を申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

## ごあいさつ



公益財団法人 日本テニス協会  
実業団委員会

委員長 矢澤 猛

今年の8月にはコロナ7波が猛威を振るい全国で1日に約25万人の感染者が発生していました。そのような状況下で、関係者並びに各チームのご協力によって、なんとか浜松市にてビジネスパルを開催し、10月には日本リーグ昇格のかかった全国実業団対抗テニストーナメントを広島市にて開催する事が出来ました。本挨拶文を書いている現在、コロナ感染者数は徐々に減少しているとは言え、年末には8派の予測と共にインフルエンザの心配も出てきています。12月にはどのような状況になっているのかは定かではありませんが、安心安全を確保しつつ何とか無事に開催出来るよう準備をし、皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。各チームの皆様には引き続き感染対策による様々な制約があるかと思いますが、例年通り素晴らしい大会にしたいと思っておりますので、是非ご協力をお願い致します。

各地域の予選を勝ち抜き、そして広島で開催された第36回全国実業団対抗テニストーナメントに出場して見事勝ち抜き、第37回日本リーグ出場資格を得られたチームの皆さんに、その努力と活躍に敬意を表し祝福させていただきます。昨年に引き続き今年もボールスピードが更に速くなっているような世代交代を感じさせられる初出場チームや暫くぶりの強化された復帰チームも参戦しておりますので、更なる活気ある素晴らしい熱戦が繰り広げられることを期待しています。チームの皆さん、日頃の練習成果を存分に発揮し、応援の皆さんに素晴らしいテニスを披露しつつ、来年2月の東京体育館での決勝トーナメント出場、更に日本一の優勝目指して頑張ってください。

最後になりましたが、長年に亘ってご後援を賜っております日本経済新聞社様、ご協賛頂いておりますヨネックス株式会社様をはじめ、主管いただきます各地域協会、都県協会の皆さま、並びに関係者の皆さまにお礼を申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。